



りっしゅん

立春（3日）… 節分に豆をまき、鬼を追い払うと春がやって来ます …

今年は2月2日が節分、3日が立春というとても珍しい暦となりました。124年ぶりだそうです。まだ肌寒い日が続く中でも、あちらこちらに春を告げる命の営みを見付けることができます。皆さんも春を探してみませんか。

<魚上氷 うお こおりをいずる 2月13日～17日>

立春の末候は「魚上氷」です。空気の温かさを肌で感じるようになり、それに伴って土や水の温度も上がっているようです。わくわく池に魚はいませんが、今年もアズマヒキガエルが姿を見せ、早くも卵を産み始めています。

<お互いを思いやるすてきな姿>

土曜日の年中、年長組の生活発表会の日は、時差を付けて学級毎の出番でした。出番を終えた子どもたちは、やり遂げた満足感とホッとした気持ちをもちながら、その後、出番に向けて出掛けていく他の学級の子たちが部屋の前を通ると、「頑張ってるね」と声を掛けていました。これまでの日々の中で、担任同士が自然と声を掛け合うすてきな関係を築くことができていたからこそ生まれた姿です。そして、子どもたち自身も緊張しながらも演じ終えた経験から、自然と仲間を応援する気持ちになったうれしい姿でした。

<大きな育ちを感じた年長の劇>

年長組は両学級とも、教師と子どもたちと共に創り上げてきた、一年間の集大成と呼ぶにふさわしい劇となりました。かえで組担任は最後に廊下に出て、「やった～！みんな100点満点！」と大きな声で喜びを爆発させました。さくら組は部屋に戻ってから、一人一人が自分のめあてが達成できたかどうかを言い、全員の頑張りが一つになったことを喜び合っていました。年少の頃からずっと見てくれている先生が、喜びを伝えに来てくれたこともうれしかったです。

<生活発表会後のすてきな余韻>

翌週は、お面や衣装を貸し借りし合っ上りの学年の劇をまねしたり、ごっこ遊びをしたり、お互いのダンスを見せ合っ一緒に踊ったりする姿があちこちで見られました。年長児は2日かけて、両学級の子どもたちが入り混っそれぞれの劇を楽しみました。学年でいろいろと一緒にやってきたすてきな仲間だからこそ楽しめた劇の再現でした。



先に終わった子たちから
これから出番の子たちにエール！



劇が終わって頑張りを振り返る年長児



両学級で混じり合っ劇の再現を楽しむ



作ってもらったお面を被っ一緒に
踊ったのは最大級の褒め言葉です



わくわく池に出てくる前は
こんなところに隠れていたようです



今年もヒキガエルと卵で
いっぱいになったわくわく池



第二校庭に行った際に、
お互いのダンスを踊り合っ年少組